



北海道大学

第4期中期目標計画期間における大学院改革の加速について

北海道大学 発表者

理事・副学長 山本 文彦

副学長 石森浩一郎

世界の課題解決に貢献する北海道大学



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

- ・「世界最先端研究を展開する国際的な研究教育拠点」
- ・「地域に密着した基幹総合大学の新しい大学モデル像」

「比類なき」
大学へ



第4期中期目標期間
における「北大」の
6つのビジョン

研究	1. 「北」から「世界」へ・研究の「北大」
教育	2. 新世代高等教育の「北大」
地域	3. 繋がる・拡がる連携の「北大」
経営	4. 動く・働く・確かな経営体の「北大」
データ駆動	5. データ駆動型の「北大」
財務	6. 次世代へ・財務エコシステムの「北大」

大学院改革

総合大学の強み・特色ある学内研究教育資源を最大限に活用し、教育改革、組織改革、キャリア支援強化・経済支援強化の4つの軸で全学的な**大学院マネジメントにより大学院改革を加速**

研究主導型の総合大学として大学院の質と量を改善

第4期以降の大学院改革の方向性

総合研究大学としての蓄積された資源を集中投下し、**大学院改革、特に博士課程の環境改善を加速**します

未来社会の開拓者を養成

学修者本位の教育への抜本的な転換

機動性と柔軟性に富む大学院教育体制

【教育改革】

- ① 総合大学の強み・特色を活かした体系的・組織的な大学院教育の推進
- ② コンピテンスに基づいた学位プログラムの実施
- ③ 社会のニーズに応じたリカレント教育の展開

散在する教育資源を最適化
北大学生のブランド力向上
(社会が求める学生を輩出)

【組織改革】

- ④ 総合大学の強みと学院・研究院制の特色を活かした学院組織の最適化
- ⑤ 社会ニーズに対応した大学全体での戦略的な学生定員の管理

研究大学として博士課程規模を維持
持続可能な大学院組織運営を実現

博士課程学生支援の強化

【キャリア支援強化】

- ④ 学士から博士課程までの一貫したキャリア教育の実施
- ⑤ 博士課程学生の出口の明確化、情報発信、出口開拓

【経済支援強化】

- ④ 博士課程学生に対する経済的支援の充実

学生の博士課程進学意欲の向上
研究志向の醸成

新組織

大学院教育推進機構

大学院教育全体をマネジメントし、個々の部局だけでは解決困難な課題解決に取り組む、全学的な組織₂

大学院改革の原動力となるフェローシップ制度

全学マネジメントにより、**フェローシップ制度を効果的に運用**し、日本の科学技術・イノベーションの将来を担う人材を**アカデミア、産業界へ人材を輩出**します。

科学技術振興機構【JST】

(次世代研究者挑戦的研究プログラム)

北海道大学DX博士人材フェローシップ制度

- ◆ 467名の支援枠を獲得。特に学生の研究活動に対する支援など、様々なサポートが充実
- ◆ 奨励金年額180万円、研究費40万円 + α 研究費

日立製作所 + 北大

北大・日立協働教育研究支援プログラム

- ◆ 日立と北大で資金を出し合い、社会課題解決に貢献できる高度な技術の研究開発に取り組む人財を育成するため、最大**9名**に対して支援。支援内容が一番充実している。
- ◆ 奨励金240万円、研究費100万円、海外渡航費60万円 所属研究室120万円

本学で展開される 主なフェローシップ制度

博士課程学生が生活費相当の奨励金と研究費の支援を受けて研究活動を展開

科学技術振興機構【JST】

(科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業)

北海道大学アンビシャス博士人材フェローシップ制度

- ◆ 国の分野指定型として「情報・AI分野：120名」
大学ボトムアップ型として「SDGs：60名」の支援枠を獲得。
- ◆ 奨励金180万円、研究費40万円

日本学術振興会【JSPS】

特別研究員制度

- ◆ JSPSが直接公募する制度。アカデミックポジションを目指す上で、ある種のステータスとして位置付けられており、DC1、DC2を合わせると毎年、**90人程度**が採用されている。
- ◆ 奨励金240万円、研究費150万円以内

Society 5.0を牽引するDX博士人材育成のための研究支援プロジェクト

総合研究大学としてのあらゆる分野の学生の可能性を広げるプロジェクトを推進します。

【Society5.0における課題】



社会ニーズ

産官学の各セクションにおいて、デジタル・トランスフォーメーション（DX）改革が必要

●課題

IT技術を実社会の変革に結び付け持続可能な社会の実現に貢献できる真のDXを理解した博士人材が不足

【北海道大学の戦略】



使命：「世界課題の解決に貢献する北海道大学」

目標：世界最先端の国際研究教育拠点を形成するとともに、地域に密着した基幹総合大学の新しい大学モデル像となり「比類なき大学」となることを目指す

実績：データサイエンスに係る教育、先端的な異分野融合研究、自治体と連携した研究シーズの実証、など

Society 5.0を牽引するDX博士人材育成のための研究支援プロジェクト

学生に対し、**専門力に + α の力**を身につけるために様々な支援を提供します。



Society 5.0を牽引するDX博士人材

【必要とされる能力】

- DX推進力
- 国際コミュニケーション力
- 課題抽出・解決力
- 異分野融合展開力

4つの力 + 主体的研究力

主体的な学びの場（人材育成）

- データサイエンス教育**
～基礎から実践的・発展的教育を展開～
- 分野横断型教育**
～トランスファラブルスキルなどの習得～
- 実践的国際教育**
～多様な価値観の理解と協働～
- アントレプレナー教育**
～自らが課題を見出し、解決策を提案～

必要となる知識や技術を習得し、新たに挑戦的、融合的な研究を
発想・提案する

挑戦的・融合的研究の場（研究の実践）

- 主体的研究提案**
～国内外の研究室などと共同で自身のテーマを実践する～
- 異分野研究室派遣**
～異なる分野の研究室で研究を行い融合研究を推進する～

社会とつなぐ場（キャリア支援）

- 社会からの期待を認識**
～博士人材の産業界での活躍発信～
- キャリアパスの多様化**
～社会で求められる多様な能力を習得～
- 研究力の強化**
～外部資金や論文投稿などを支援する～

《北海道大学DX博士人材フェローシップ制度》

地域の未来社会SOUZOUプロジェクト ～ 想像から創造へ ～

研究内容や研究成果を地域の発展に

サツドラホールディングスとの共同事業
「EZOHUB SAPPORO」を拠点に活動

抱いた“大志”を持って街に出よう

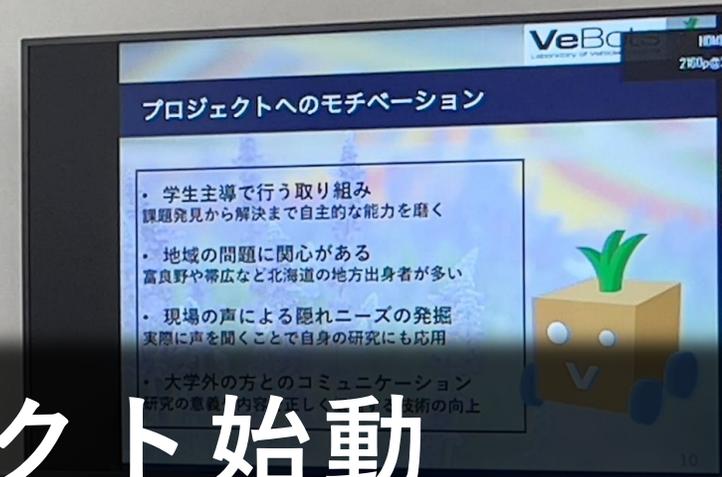
研究成果の社会実装
イノベーション創出

新たな視野や体験を通じて
自分自身のワクワクを発見

学生の強みや発想を活かし
未来を創造する

地域の未来社会SOUZOUプロジェクト ～ 想像から創造へ ～

令和4年4月12日 プロジェクト始動



《北海道大学DX博士人材フェローシップ制度》

地域の未来社会SOUZOUプロジェクト ～ 想像から創造へ ～



研究内



EZOHUB SAPPORO

共同事業
「EZOHUB SAPPORO」を拠点に活動



抱いた“大志”を

想像から創造へ

新たな視野や体験を通じて
自分自身のワクワクを発見



実装
創出

【問い合わせ先】

北海道大学 学務部 学務企画課

大学院教育改革推進事務室 室長 川崎 直

TEL 011 - 706 - 5252

meil daigakuin@academic.hokudai.ac.jp